



移住者名	松川 愛美
都道府県	沖縄県
移住先	横浜市⇒久米島町
移住年	1年
職業	学童支援員⇒介護士
家族構成	夫婦・息子1人
移住形態	1ターン

## Q. 移住したきっかけは？

リゾートバイトで来たのが、久米島を知るきっかけでした。リゾートホテルのスタッフとして、働きに来ました。ちょうど仕事を辞めた時で、次の仕事への気分転換で、リゾートバイトを探していて、久米島での求人を見つけました。

「久米島」という島は正直知らなかったのですが、持ち前の好奇心と勢いで来てしまいました(笑)。不安はありましたが、寮の部屋から見える景色は一面のサトウキビ畑で、「ここで暮らすのか〜いいなあ!」と思いました。

## Q. 移住の際不安に思ったことは？

リゾートバイトを終え、一度神奈川に帰りました。ですが、やはり久米島での暮らしが忘れられずに、移住することに決めました。

その時は「島に帰りたい!」という想いでいっぱいだったので、不安はなかったのです。ですが、一年を通しての気候がわからないので、服を何枚くらい持っていくかは悩みました。

服以外にも、荷物は何を持っていくべきかは悩みましたね。必要なものはもちろん、あまり必要じゃなくても、思い入れがあってそばに置いておきたいものとか…。結果、引っ越し段ボール箱は大変な数になりました(笑)。

## Q. 移住して良かったことは？

私にとっては必要な物しか買えないということは、シンプルに物事を考えられるようになるのでよかったことに当てはまります。無駄遣いが減るし、物欲から解放されて、清々しい感じがします。また、周りが本当にいい人ばかりで、自分がチャレンジしたいことを周りに相談すると、手助けしてくれる人がいっぱいいます。ご近所さんから野菜やフルーツのおすそ分けもいただけます。すごく助かりますね。



## Q. 移住を考えている方へメッセージ

ファーストフードも複合型のショッピングセンターもありません。当たり前にも身近にあったものが、ありがたいものになります(笑)。お金で買えるのものは少ないですが、毎日無料できれいな夕日が見れます。海にふらっと散歩に行けます。島の方はみんな子どもに理解があるので、泣いたりしても大丈夫です。レジの会計のときなど、代わりに見てもらえます。

趣味でやっていたことや、自分で開きたかった教室が久米島なら「思いきってやってみようかな?!」って思えます。いろいろなことに挑戦できる島です。

島へのお越しをぜひお待ちしております! 見かけたら話しかけてください!